



たかしま takashima

広報たかしま 2006.3.1 発行

Takashima 2006 March No.15



琵琶湖源流域「針畑郷」で行われている
 「雪に感謝し 春を迎える祭り」“針畑どんど”
 どんどを通じて、水の大切さを訴えながら
 下流域の人とも交流していきたいとおっしゃるのは
 朽木針畑山人協会の皆さん。
 高島には素敵な風景がたくさんあります。

【2月11日(土)朽木針畑地域にて 撮影:特定非営利活動法人 朽木針畑山人協会 藤澤真司さん】

CONTENTS 目次

高島市1歳3ヶ月のアルバム	2・3
障害者自立支援法が施行されます	4・5
タウンピックス	6~10
市長日記・シリーズ環の郷	11
教育委員会Information	12・13
健康生活してますか?	14・15
みんなの子育て応援します!	16・17
みんなのページ	18・19
まちネタ写真館	20・21
そうだ、図書館に行こう♪	22・23
情報お知らせ版	24~30
お知らせ 病院・警察・窓口・納税	31~33
行事カレンダー	34・35



Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
 Mail Address
 t-info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩

No.15

神話と歴史の息づく集落 — 拜戸 —

高島市南部には、継体天皇や三尾君にかかわる地名や史跡が数多く残されています。

その中の一つ、拜戸集落の嶽山山ろくに位置する水尾神社は、三尾君の始祖とされる磐衝別命と継体天皇の母であるヒメガミ(振姫)を祭神とする神社で、元は三尾川(現在の和田内川)をはさんで北本殿と南本殿が鎮座していました。

伝えられるところによると、磐衝別命は猿田彦命の神道を学ばため、猿田彦命を祭る高島の三尾の地にやって来て、三尾山の麓に家を造り、そこから朝夕三尾大明神(永田の長田神社)をおがんだため、後に、この居宅のあった場所を拜戸と称し、その地に水尾神社が建てられたといわれます。

それから約百年後、今度は応神天皇の皇子の速総別王が神道を学ぶために拜戸の地に住み、その四世の孫である彦主人王の妃の振姫は、水尾神社の拜殿を産所として継体天皇を含む3人の子どもを産みました。水尾神社の北本殿は、振姫出産のときに彦主人王が安産を祈った仮社跡に建てられた社だといわれています。

また、拜戸の臨濟宗寺院・禅智院は、水尾神社と深いつながりがあったことが知られています。禅智院は、臨濟宗南禅寺派の尼寺で「高島尼御所」とも称されました。開基は鎌倉時代、後嵯峨天皇の孫娘にあたる道栄尼によるものと伝



水尾神社



禅智院

えられます。道栄尼は水尾神社とのかかわりも深く、水尾神社にはそのなごりか、鎌倉時代の優れた石塔や石灯籠が残されています。水尾神社周辺は、古くから「高嶋宮」の跡とも考えられ、現在に続く「高島」の地名の発祥を考える上でも、重要な地域であると思われま

(文化財課)



3月1日より改装する高島市ホームページのトップ画面(案)
<http://www.city.takashima.shiga.jp>

編集後記

▼平成17年度を締め括る3月になりました。今月の特集(2・3頁)は、高島市誕生から15ヶ月を写真で振り返ってみました。市になつて最初の年、こうしてみると早かったなあと感じます。子ども頃は一日があんなに長かったのに、今では一年があつという間。この時間の感覚の違いは何なんだとつとつと悩んでしまいました。▼時代の変革期に刻まれていく高島の歴史。その中には多くの皆さんがまちづくりの主人公として、また縁の下の力持ちとして登場されています。広報紙では、これからもそういった多くの皆さんに登場していただきたいと思ひます。▼3月1日午前10時より市のホームページがリニューアル(改装)します。市(役所)の情報市民のもの。当たり前のごとく、常に最新の情報を、もっと丁寧に皆さんにお伝えできるように職員全員で気張っていきたく思ひます。また、「民間の事は民間で」との思いから始まった地域ポータルサイトも頑張ってください。風通しナンバー1のまち高島を目指します。

(広報担当)



発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
 〒520-1592 滋賀県高島市新旭町1-6番地 ☎074925-8130
 高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
 高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp